

東京都立富士高等学校
東京都立富士高等学校附属中学校

I 富士未来学 (拓く)

- 1 6年を貫く課題研究「富士未来学」のカリキュラムの研究開発
(異学年による研究交流, 課題研究強化週間の設定, 独自テキストの発行)
- 2 最先端の科学を取り入れた理数カリキュラムの研究開発
(数学: 統計と実験を重視した授業を实践 理科: 高大連携授業を实践)
- 3 課題研究に必要な資質・能力を全教科で系統的に育成するカリキュラムの研究開発
(課題研究「富士未来学」との関連を明示したカリキュラム表に基づく授業の实践)

SSHで育成する「富士山型探究者」

「富士山型探究者」とは「挑戦力」「理数的発見力」「理数的解決力」を備えた科学的グローバルリーダーを指すものとして全校で共有した言葉です。
SSH事業をとおり、全校を挙げて育成を図ります。

III 全富士体制 (育てる)

- 1 全教員によるゼミ・ラボ体制の研究開発
- 2 全教員対象の「富士未来学研修」の研究開発
(「富士未来学」スキルアップ研修など, 毎月実施)

II 富士SSチャレンジプログラム (尖る)

- 1 最先端の科学技術を学ぶ理数事業の研究開発
(理数セミナー, 放課後理数教室, サイエンスアカデミーキャンプなど)
- 2 グローバルな科学技術を学ぶ理数事業の研究開発
(FGG, 海外探究研修, 理数ファウンデーション研修, 英語合宿など)

IV 評価 (検証する)

成果を検証するための質問紙, 調査問題及び客観的な分析方法の研究開発
評価委員会「IR評価委員会」の設置

II 全富士体制 (育てる)

「富士山型探究者を育成する人」を育てる
「富士未来学研修」の開発

理数的発見力
理数的解決力

IV 評価 (検証する)
各組の成果を, 科学的・客観的に評価し, 検証

世界貢献
新たな山へ

富士山型
探究者

(科学的グローバルリーダー)

II 富士SSチャレンジプログラム (尖る)

最先端の科学技術を学ぶ
「富士SSチャレンジプログラム」の研究開発

I 富士未来学 (拓く) (最大5単位「理数探究」を履修できる。)

6年を貫く課題研究「富士未来学」に挑戦する
中高一貫理数教育カリキュラムの研究開発

SSH 研究開発課題名

6年を貫く
課題研究「富士未来学」に
挑戦する
中高一貫理数教育カリキュラムの
開発と評価

挑戦力

最強となるグローバルな教育

富士未来学 I
中1・35時間
総合的な学習の時間
「探究とは何か」

課題発見講座 I
データ分析講座 I
プレゼン講座 I
探究合宿

富士未来学 II
中2・35時間
総合的な学習の時間
課題研究の基礎力

課題発見講座 II
データ分析講座 II
プレゼン講座 II
研究倫理講座
英語合宿

富士未来学 III
中3・70時間
総合的な学習の時間
ブレ課題研究
ゼミ体制

探究基礎講座
データ分析講座 III

富士未来学 IV
高1・2単位
理数探究
専門的な課題研究
ラボ体制

課題発見講座 III
質問紙講座 I
研究計画書講座

富士未来学 V
高2・2単位
理数探究
課題研究の発信
ラボ体制

アカデミック・
ライティング講座 I
質問紙講座 II
統計分析講座
海外探究研修

富士未来学 VI
高3・1単位
理数探究
選択2単位
SS理数探究
英語論文・ポスター
ラボ体制

アカデミック・
ライティング講座 II

← 生徒のICT機器の活用をベースに授業を实践 →

挑戦力

解決策が見いだされていない課題に, 試行錯誤して取り組もうとする力
失敗から学び, より良い方法で実践するために自己調整しようとする力
新たな価値を創造し続けようとする力

理数的発見力

挑戦力を働かせて, 疑問をもったことから課題を見いだす力
科学的に解決できる課題であることを判断する力
課題から仮説を設定し, 科学的に検証できることを説明する力

理数的解決力

挑戦力を働かせて, 検証計画を立案し, 見直しながら実践する力
データを収集し, 統計的な手法で分析し解析する力
解析結果を根拠に, 導いた結論を他の人が納得するように説明する力

